

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



|                               |                     |                          |
|-------------------------------|---------------------|--------------------------|
| ボール名<br><b>アブソリューション・エクセル</b> | 投球者<br><b>徳江 和則</b> | センター<br><b>平和島スターボウル</b> |
| RG<br><b>2.430</b>            | △RG<br><b>0.054</b> | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール    |

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4 1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：アブソリューション・エクスプレス**

フレアーの幅  インチ

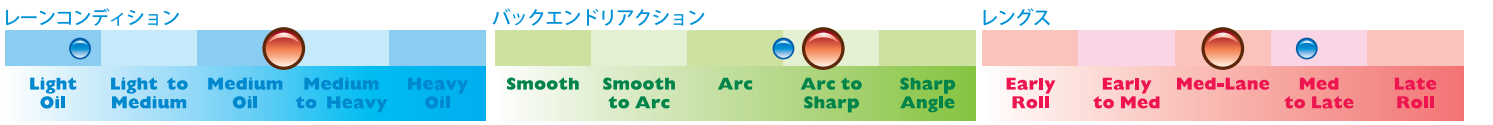
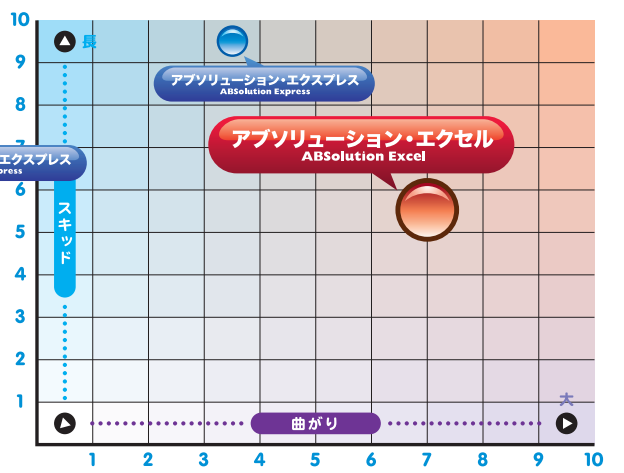
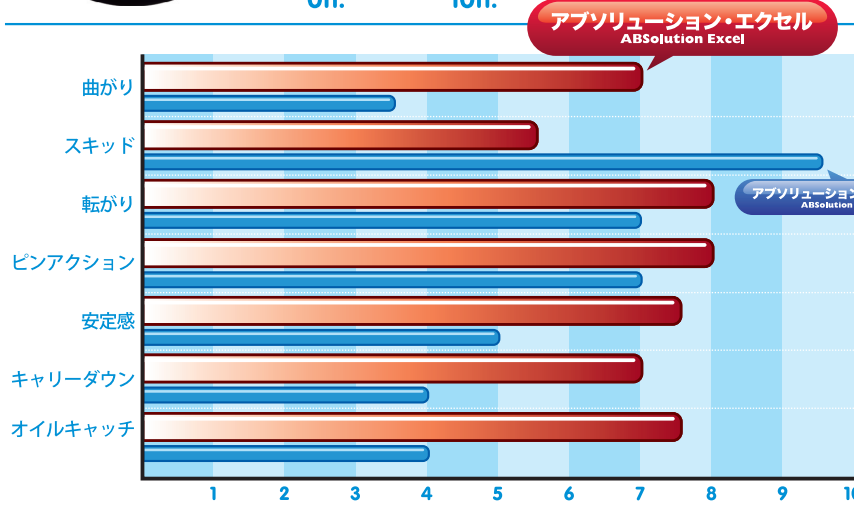
PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



**ボールの評価**

**特記事項**

アキュラインシリーズを代表作とする日本エボナイト社よりアブソリューションシリーズ第5弾エクセルの発売です。日本で風刺されていた日本エボナイト社のカバーストックの評価はアキュラインシリーズに使用されているAVEXカバーストックで一気に逆転し、オイルの多いコンディションでプロ・アマのみならず国外のボールと同等かそれ以上のパフォーマンスでその存在をアピールしています。今回今まで蓄積されたノウハウをAVEXとは違ったカバーストックでこのエクセルで発表できる日が来ました。コア形状は計5ブロックからなる新開発のStrong BE Core搭載し、カバーストックにはABSテスターが十数種類にわたるテストの結果から算出したSS Reactiveを採用致しました。投球したイメージは、まず第一印象で**ボールの転がり感が非常に良く、その転がり感はミッドエリアでの動きにロスなく連動し、そこからまた加速しながらピンヒットまで柔らかく切れる**イメージのリアクションを感じます。印象的なのは**曲がり始めが早く感じながらも、その曲がり感を失うことなく、最後にもう一切れする感じがこのボールの最大の特徴**で、そのリアクション特性が柔らかく低いピンアクションを実現させています。新開発コアのパフォーマンスをしっかりとカバーストックで受け止められている、そのマッチングの良さが光ります。対応コンディションはミディアムコンディションを中心にアキュラインシリーズの次に使用できる位置づけで、ストローカーからクランカーまであらゆるタイプに使用できる性能を兼ね備えています。

**日本エボナイトとABS共同開発コア第一弾のボール。コントロール性能と柔らかいピンアクションがこのボールの真髄です。**